



12月13日

おいしいお米ができました 富来小で液体肥料モデル事業



「資源循環と食育」をテーマに、富来小学校5年生が取り組んでいた液体肥料を使った米作りが終わり、おにぎりにして食べました。

これまでの学習や農作業体験を発表した児童たちは、5月から指導を続けてきた「くにさきエコシステム」(西田正孝社長)の社員らと、これまでの苦労をねぎらいながら味わいました。

12月14日

夢は逃げない！ 安岐中40周年で母校にエール



生さんが招かれ、野球を通じて得た貴重な体験を話しました。

昨年春の選抜高校野球で創成館を甲子園に導いた植田さんは、「夢は逃げない。いつまでも夢を持ち続けられれば必ず実現する」と後輩たちを激励しました。

12月15日

寒風なんてへっちゃら！ 菜の花カップマラソン



12月14日

武蔵保育所に サンタがやってきた！



武蔵町の武蔵保育所で開催されたクリスマス発表会に、サンタクロースがやってきました。サンタクロースに扮したのは都留俊一郎さん(武蔵町手野)。「子どもに喜んでもらいたい」との思いで20年間も続けています。

サンタさんからプレゼントを受け取った園児たちは、うれしそうな笑顔を見せていました。

ま ず の 話 題

統合40周年を迎えた安岐中学校でパネルディスカッションが行われ、生徒代表やPTA役員らがこれからの夢をテーマに語りました。特別ゲストとして、同校出身で創成館高校(長崎県)野球部監督の植田龍

第7回菜の花カップマラソン大会が武蔵町で開催されました。武蔵東小学校前をスタート、フィニッシュとする2・3・5キロの各コースに、幼児から72歳までの市民ら約230人が出場し、寒風にも負けず力強く走りました。

レースには武蔵町出身で九電元陸上部の奥永美香さんも参加し、子どもや中学生ランナーと競走したり、ミニ講演会を行い参加者と交流を深めました。

11月25日

トップアスリートと交流 小原小&安岐小



▲小原小学校

▼安岐小学校



サッカーJリーグの「大分トリニータ」とフットサルFリーグの「バサジィ大分」の選手が市内の小学校を訪れました。これは県地域密着型プロスポーツ普及促進事業の一環です。

大分トリニータの為田大貴、崔正漢の両選手は小原小学校の全校児童と校庭で、バサジィ大分の伊藤雅範監督、田村龍太郎、蒲原旭の両選手は安岐小学校3・4年生と体育館で、それぞれボールを使ったミニゲームなどをして楽しみました。また、両校の児童は選手たちと一緒に給食を食べ交流を深めました。

11月30日

梅園先生の功績を後世に シンポジウム開催



三浦梅園の没後225年を記念したシンポジウムがアストくにさきで行われました。梅園の功績を広く伝えようと、研究者らでつくる記念祭実行委員会(菅嶋源一郎代表)が主催しました。

基調講演「三浦梅園と麻田剛立」(講師：鹿毛敏夫氏)につづいて、

パネルディスカッションが行われ、三浦梅園先生顕彰会会長の小串信正さん、アキ工作社代表の松岡勇樹さんなど5名が、現代社会に受け継がれる梅園の知恵や思想について考えを交わし、参加者は熱心に耳を傾けていました。

12月3日

けんしん創立 60 周年記念で市へ寄付

大分県信用組合の創立60周年を記念して、郷司康生常勤理事と国東支店の小島俊郎支店長が市役所を訪れ、「国東市へ緑化推進のために」と寄付金の目録を三河市長に手渡しました。

市ではこの寄付金を市内の公園や学校の植樹に活用することになっています。

